

# ブロッコリー (夏播き秋穫り)

## 品種

**おはよう (サカタ)**：播種後 95 日前後で収穫できる中早生品種。小粒で濃緑色の極ドーム型で、花蕾形状の安定性が高く茎空洞症も少ない品種です。

**ハイツ SP (タキイ)**：耐暑性に優れ、強勢で作りやすい中早生種！また側枝が多く発生するので 12 月まで収穫することも可能です。



## 作型の例

( ◆ は種 ← 定植 ● 収穫 )

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
夏播き	◆	←				
秋穫り				●	●	

## 定植

- ・本葉 4~6 枚が定植の目安です。
- ・排水の良い、高畝の圃場で定植しましょう。
- ・定植時期が高温時なので、夕方涼しくなってから行いましょう。

## 追肥

- ・基肥を主体とし、生育半ばまでは肥料切れしないように追肥を施します。1 回目は活着した頃、2 回目は発蕾時に行います。追肥は発蕾までとし、同時に土寄せも行いましょう。

## 害虫防除

- ・ブロッコリーなどのアブラナ科は害虫の被害を受けやすいので、定植後は寒冷紗で害虫の侵入を防いだり、花蕾を付ける前には農薬防除を心がけましょう。

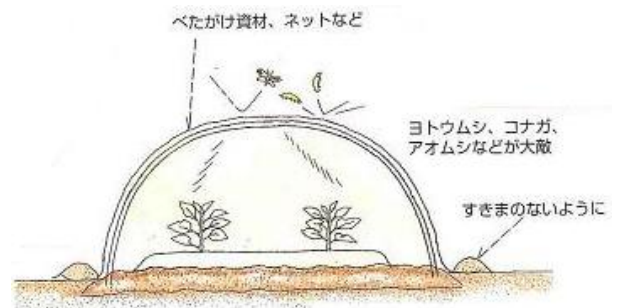
## 収穫

- ・花蕾の直径が 10~15cm を目安に収穫を行います。収穫が遅れると、花蕾が開いて軟らかくなるなど品質が低下するので、注意しましょう。

## 施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥	
たかおか堆肥	200		
苦土石灰	15		
よう 磷	4		
やさい良好 15 号	10		
やさい磷加安 S540		3	3



## 栽培のポイント

- ブロッコリーは大きく充実した花蕾をとるためには、茎葉を大きくすることが大切です。肥料切れにならないように、基肥を十分に与えましょう。
- 虫害や風害による葉の損傷を防ぐため、定植後に寒冷紗などの資材で予防しましょう。